

氏名	辻 玲子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1994年慶應義塾看護短期大学看護学科、1999年大分医科大学医学部看護学科、2001年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程、2021年宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本認知症ケア学会（代議員、関東1地域部会委員、査読委員）、日本老年看護学会、日本看護管理学会、日本赤十字看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	特集3 超高齢社会における外来看護の役割 外来看護師による高齢者虐待の早期発見と予防	単著	なし	日総研出版；継続看護を担う体質強化 外来看護；25(3)；P.75-81	辻玲子	2020.8
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	高齢者虐待の予兆を察知し虐待に至らしない外来看護支援モデルの構築	単著	あり		宮城大学大学院看護学研究科 博士後期課程学位論文	辻玲子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	外来看護師が高齢者虐待の予兆を察知し虐待に至らしない予防的看護モデル開発	共同		日本老年看護学会 第25回学術集会、誌上发表）	○辻玲子、大塚真理子	2020.6
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			外来看護師が高齢者虐待の予兆を察知し介護者支援を行うための看護モデル開発	研究代表者	2018.4～2022.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4～2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学Ⅰ	○	6	学部1年次生に、老年期を生きる元気高齢者から衰弱・病弱高齢者までの一連の流れの中での高齢者の特徴や特性、老年看護の理念や考え方を講義した。		
2	認知症看護		1	学部4年次生に、卒業後の自己研鑽の仕方について（認知症看護認定看護師のことや認知症患者にかかわる多職種の事例検討会への参加等）を講義した。		
3	地域ケア支援論		2	修士過程1年次生に対して、地域における認知症高齢者への看護のアセスメントや援助方法及び認知症高齢者家族への援助方法、認知症高齢者の意思決定支援を講義した。		
4	認知症高齢者看護		2	修士課程1年次生に対して、認知症4タイプの特徴、パーソン・センタード・ケア、認知症高齢者の起こりやすい行動への看護、身体症状のアセスメント方法を講義した。		

5	臨床薬理学 (CNS)		3	修士課程1年次生が体験した事例を基に、症状アセスメントや服薬管理の理論への活用、服薬管理困難事例の対応方法、専門看護師の役割についての検討を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ		4	学部3年次生に、4月は知識の復習としてWebclass上に老年看護学分野の看護師国試問題30題を設定した。また、課題レポートの評価を行った。7月は遠隔にて口腔ケア演習を行う為に必要物品を学生に郵送、口腔ケアの基礎知識はオンデマンドでの授業、Zoomライブで自己口腔ケアを誘導し、グループワークにて学びを共有した。
2	老年看護学Ⅲ		2	学部3年次生において、担当4グループの老年看護学Ⅲの成果報告・意見交換会を行い、実習・授業を通しての振り返りを行うと共に全体報告会発表1グループを決めた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ		2020.6 遠隔実習担当：1コマ	課題 (高齢者インタビューと地域に関する情報収集) とオンデマンド授業の実習が主となり、実習の最後の実習体験を共有するZoomでのグループワークをサポートすることと最終課題レポートの評価を行った。
2	老年看護学実習Ⅱ		2020.10～ 2020.12 学内 演習：12日 遠隔実習：24日	学内演習は、高齢者疑似体験、口腔ケア演習を行い、技術サポート・指導を担当した。遠隔実習は、学生21名の紙上事例の看護過程の展開を計画立案まで指導した。高齢患者だけでなくその家族への支援や多職種連携での支援の仕方の理解が深まった。
3	総合実習		2020.6～2020.8 事前指導：5コマ 遠隔実習：10日	主に、学部4年次生地域グループの2名の学生に対して、修正した遠隔実習で可能な自己学習課題達成のために、立案された遠隔実習のプログラムに沿って4年生の集大成の学びが得られるようにサポートした。
4	IPW実習		2020.9～ 2020.10 遠隔実習：4日と2コマ	4年次生6名が、それぞれの学科の強みを生かしつつ、病院事例患者・家族の理解が深まり、かつ多職種の考え方の違いを学べるように、用意されたシートを使いながら、Zoom上でも、意見交換してチームビルディングができるようにサポートした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学概論 (非常勤講師)	2021.1～2021.2	上尾看護専門学校1年生約40名への講義をZoomライブで14コマ行っ	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和2年度埼玉県介護支援専門員更新・再研修	埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	2020.11
2	埼玉未来大学 ライフデザイン科 講義	いきいき埼玉	認知機能と生活習慣病 (春日部学園・伊奈学園)	2020.12
3	関東1地域部会 事例検討会	日本認知症ケア学会	多職種よれば文殊の知恵：架空事例シート、事例検用紙を作成し送付	2020.8
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本認知症ケア学会	関東1地域部会委員		2014.4～現在
2	日本認知症ケア学会	日本認知症ケア学会誌査読委員		2020.6～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム検討委員 (1年次生向け履修モデル説明会担当)		2019.4~2022.3
2	学生支援	2年次生担任		2020.4~2023.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				